

平成22年度第8回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成22年11月15日（月）14時30分～16時00分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	益田 和弘
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	有蘭 幸司
総合管理学部長	三浦 章
地域連携センター長	篠原 亮太
学術情報メディアセンター長	津曲 隆
アドミニストレーション研究科長	黄 在南
熊本県公立高等学校長会会長	眞開 純洋
前熊本近代文学館館長	河原畑 廣
学校法人昭和女子大学理事	渡辺 満利子
オブザーバー：キャリアセンター長	山崎 健司

事務局：三角事務局次長、林田教務入試課長、馬場総務課長、高橋学生支援課長、阪本企画調整室長、田中学術情報メディアセンター事務長、林企画調整室主幹、教務入試課木村教務班長、同課澤田参事

1 開会（進行：三角次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）報告事項

① 平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」について

山崎キャリアセンター長から、資料1に基づき、平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」について、次の説明があった。「9月28日に文科省から大学生の就業力の育成支援事業が採択になったという通知があった。取組名称は「自律と自立を目指す学生 GP 制度の創設」、副題は、「就業力向上のための自立型プラットフォームの整備」である。取組内容は、就業に役立つ実学的専門教育として卒業研究をキャリアデザイン教育の最終段階と位置づけ、この卒業研究を実社会と連携させる地域連携型卒業研究へと拡張するもので、地域企業・地域社会から研究テーマを募集し、提出されたテーマを学生が卒業研究として

行い、実社会と学生とを結びつけ就業力育成を図るものである。専門教育とキャリアデザイン教育を融合させるもの。本学が持つ3つの資源、学部の専門教育資源、キャリアセンターが持つキャリア形成資源、地域連携センターが持つ地域企業・地域社会の社会資源を活用する。これらの資源を自立起動型プラットフォームとして整備し、このプラットフォーム上で事業を推進するエンジンとして学生GP制度を創設する。学生GP制度は、実社会からのテーマを地域企業・地域社会から募集し、それを学生チームが卒業研究を通して行う制度。母体は本学の学生自主研究事業である。学生GPに採択された学生チームには、研究の拠点として、学生と社会人が出会う場である「学生GPラボ」を提供する。学生GPラボは、キャリアセンターが育成した学生スタッフによって運営される。キャリアデザイン教育の企画・実施はキャリアセンターが担う。キャリアセンターには特任教員等を新たに配置する。卒業研究の成果報告のために、学生GP公開審査会を設ける。制度全体の評価は、卒業予定者アンケート、卒業生が就職した企業に対する調査により行う。学生GP制度の成果をまとめたテキストを全学生へ配布するとともに、シンポジウムの開催、優れた成果を出したチームの表彰などを行い、全学への学生GP制度の浸透を図る予定である。」

(2) 意見交換

① 次期中期計画に向けて

次期中期計画に向けて、CAP 制の導入などについて意見交換が行われた。

4 その他

次回日程、12月6日(月) 午前11時～ 本部棟2階 大会議室

5 閉会